

満月の夜 (1984)

LES NUIT DE LA PLEINE LUNE
FULL MOON IN PARIS

メディア 映画
ジャンル ドラマ
製作国 フランス
色彩 Color
時間 102分
初公開日 1987/01/17
公開情報 ユーロスペース

【解説】

真冬のパリ。冷たい石と壁の町に夜は足早に訪れる。恋多き女室内装飾家ルイーズは郊外にレミと暮らしているが、二人の性格は正反対。夜遊びにつき合わぬ真面目な彼を尻目に、オクターヴと夜の町を徘徊するルイーズ。束縛を嫌う彼女はパリに自分だけの“仕事場”と称する部屋を持っていた。あるパーティに出かけたルイーズはオクターヴの制止も振り切り、年若のバスチアンと一夜のアヴァンチュール。さすがに後ろめたい気持ちで、まだ暗いうちにこっそり部屋を抜け出したルイーズは、カフェで始発を待つ。そこへ奇妙な絵描きが“今夜は満月だ”と話しかける。部屋に帰るとレミはいない。遅れて帰った彼は彼女に、他に愛する女性がいて、昨夜はその女とすごしたのだーと告白した……。本作公開後2ヵ月して急逝した24歳のP・オジェの顔の造作の粗雑で、いかにも気丈そうな（うっすらと髭すら生えている）醜い風貌が、知的ブルジョワ女性のスノビッシュな生き方への痛罵が底にある本作の主演に相応しい。だが、余りにも傲慢な役になり切って、同情の余地を残さない。ロメール“喜劇と格言劇”の一篇だが、喜劇味より残酷さが勝って、いささか重苦しい作品になってしまった。それはD・シュミット映画のR・ベルタの冷酷で透明な映像の感触のせいもあるだろうが……。

【クレジット】

監督	エリック・ロメール	Eric Rohmer
製作	マルガレート・メネゴス	Margaret Menegoz
脚本	エリック・ロメール	Eric Rohmer
撮影	レナート・ベルタ	Renato Berta
	ジャン＝ポール・トライユ	Jean-Paul Toraille
	ジル・アノー	Gilles Arnaud
音楽	エリ&ジャクノ	
出演	パスカル・オジェ	Pascale Ogier
	チェッキー・カリョ	Tcheky Karyo
	ファブリス・ルキーニ	Fabrice Luchini
	クリスチャン・ヴァディム	Christian Vadim